

意見書

氏名：委員 A さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

自身の体験・実践例を挙げて参考にさせていただきたいと思いますが、この事例が全ての地域に当てはまるものではありません。

以下のような自発的な地域ごとの催し・集まりに行政が係わることの是非は別として、奨励・支援していく方針や仕組みがあるとやりやすいのではないかと。

スペースの問題もあります。実施する場所が個人宅にかぎらず、集会所、公園などで行えるようになれば、ハードルは越えやすくなるのでは。

こうした小さな集まりが各所で数多く構成されていき、祭りなどの町内行事、地区行事への参加につなげていく。祭りは同時に防災の単位になりうる。

以下、ランダムです。

◆子供祭り

町内融和・親睦を図るために、緑町子供祭りを 9 月に実施してきた。(コロナ禍で昨年はなし) 浅間神社境内を会場として、青壮年会、子ども会後援会、祭囃子保存会が共催し、後援に町内会、老人会、婦人会、ゴルフ愛好会が加わり、それぞれの出し物を用意した。

出し物は焼きそば、フランク、フレンチフライ、かき氷、ビール、ジュース、ヨーヨー釣り、射的、パッティングゲームなどを各団体が分担して行う。広場や神楽殿では各団体の出し物(老人会踊り、お囃子会太鼓等)を行った。

一番のハイライトはビンゴゲーム。カード配布の時間を 3 回とし、カードをもらうために、その時間は来場するようにした。最後の抽選会では普段、町内行事などに顔も見せない人々が集まり、ビンゴゲームに興じた。商品は区長による自転車、青壮年会による高級アイスクリームなどが用意され、当選が決まる度に歓声が上がった。

実施は緑町主体だが、協力として仲町の青壮年会(仲親会)が参加し、1カ所を担当してもらった。

事前告知は町内回覧と子供会回覧で告知し、町内掲示板にも案内を貼った。

参加対象は緑町に限定せず、第二小北中の児童生徒の参加も積極的に受け入れた。

効用：普段交流のない複数の(年齢層も構成員も異なる)町内団体等が共同で行うた

め、打合せ、実施、反省会などの機会を通じて相互顔見知りになり、親睦を深めることができた。

ビンゴゲームには普段町内行事・子供会行事に参加しない人までが集まる効果がある。当選者を前に出して、商品を手渡した。

神社としても、人々が集まり賑わうことで町民が神社に親しむことができる。

◆隣保班ピザパーティ

毎年4月の半ばに班内のピザ窯のある家の庭で花見ピザパーティを行う。班員には回覧で告知し参加希望者を募る。1人1000円の会費。飲料は持ち寄り。毎年10数人が参加。

◆班新年会

班では1月に新年会を料理屋で行うが、その際、総会を行い、人事（次期班長と子供会担当）、議題の協議を行い、あわせて集金（区費、社協、共同募金、子ども会費）をこの場で済ませてしまう。この方式をとっている隣保班は多い。

◆オープンガーデン

班内に藤岡ガーデニングクラブ会員がおり、5月中にはオープンガーデンが行われ、班員に限らず、町内外、市内外から多くの人がバラの見学に来る。ケーキと飲料で茶話会を行い、土日2日間で200人が来場する。

◆ティーパーティ

バラの季節5月以外でも、6月のアジサイ、11月の燻製パーティ、時節に関わらない茶話会などを行っている。

意見書

氏名：委員 B さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

(個人としての意見です)

○地域コミュニティを活性化するためには！

↓

○各地域で「防災訓練」を主要事業として開催してみてもどうでしょうか？

- ・「防災」は、昨今台風・ゲリラ豪雨、地震など日本列島のどこかで自然災害が発生しているので市民は身近な課題と感じていると思います
- ・身近な課題である「防災」→「防災訓練」は年齢や性別を問わず、住民であれば誰でも参加可能で、また個人や家族同士、友達同士、近所同士等参加形態は問わないので参加ハードルは低い行事だと思います
- ・人が集まれば会話があり、地域の各種情報交換、顔のつながる関係も構築できると思います
- ・また「防災訓練」で「自助」「共助」「公助」の役割の重要性を理解し、深めていただけたと思います
- ・高齢化、人口減少、考え方の多様化するなかでの地域の人たちをつなげ、地域コミュニティの活性化を図るのは難しい状況ですが、身近な「防災」を切り口に、検討してはいかがでしょうか

意見書

氏名：委員 C さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

○子供たちの時から人間関係づくりを育てる活動を実施

- ・将来、地域で活動するときに必要な人間関係を小学生時代から築いていく
- ・異年齢での活動を地域の中で実施すること
- ・できれば中学生の活躍できる機会をつくり、小学生をまとめた集団を育てる

○公民館活動を活かした地域の活性化

- ・公民館主事に自分が管轄している地域の活性化に積極的に入ってもらう
- ・公民館主事にコミュニティスクールの中心となって地域の活性化に必要な子供たちが地域で活躍できる活動を増やしていく

○公民館を中心に地域全体が参加できるイベント開催

- ・子供たちの前で、大人が見本になれるイベントづくり

意見書

氏名：委員 D さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

藤岡市の市民アンケート調査結果から

(1)「夫婦のみ」「単身世帯」の増加

地域コミュニティの希薄化(感じている人は7割)

と顕著であります。

2025年には団塊の世代800万人が後期高齢者となり、今後は元気高齢者の活躍に期待するところも大きい。例えば「支え合い協議体」は重要な位置付けとなる。

地域コミュニティの希薄化

コミュニティの希薄化は、まず冠婚葬祭の変化にもみられる様に、地域内どうしでの繋がりも見られなくなった。

しかしこの様な地域のふれあいの希薄化にはマンザラでもない、と思える人も多く多様化の一片だ。

公民館（公会堂・集会所）の活性化

藤岡市のアンケート結果から、公民館の利用状況で「利用していない」が75%と4分の3をしめた。

前記(1)の状況から高齢化に適した地元に着した場所(車に乗らなくても行ける場所)、人(顔見知りが多い)、物(簡単な遊び)(簡単な飲み物がある)等で気軽に集える場所。つまり身近な公民館(公会堂・集会所)の活性化と思う。

地域コミュニティの活性化には、公民館等の地域に密接した機能を生かしていく事が大事である。

公民館行事の例ですが、藤岡市ミニデイサービスの利用の低迷です。

地元公民館での7月の利用者は1人でした。

過去には20人を超える利用者がありましたが、減少の一途をたどり風前の灯です。

感じたことですが、ミニデイサービスは余りにも地味な感じを受けました。利用できる人は概ね70歳で、費用は300円かかります。

元気な高齢者が気楽に寄れ、気楽に話し、気楽に楽しめる場所、遊べるなどの集まりができるような活動にしたい。

現在ミニデイサービスは市内 68 会場で月 1 回行われている様です。
参加は事前予約になっているようですが、広報や周知が乏しいと思われる。

ミニデイサービスは元気高齢者も集える場所になるために名称を

ミニデイサービスから藤岡市コミュニケーションの日
とする。

ミニデイサービスでは現在お茶菓子代 300 円が必要です。

セブンでコーヒー1 杯 100 円で飲めます。

市民の役割や取り組み

各自治会、老人会等地域住民がボランティアとして参加し、会場での補助に当たる。

行政の役割や取り組み

藤岡市や 79 区の自治会からは必要経費の補助を担う。

意見書

氏名：委員 E さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

個人 > 家族（家庭） > 班 > 町内 > 藤岡市

ひとりひとりが自覚を持って与えられた事を考え、無理をせずに実行出来れば良いと思います。

各種団体・ボランティア(地域づくりサポーターなど)・各公民館の利用など活動が見えにくいため、具体的にどのように取り組み交流しているか分かりやすく周知して欲しい。(全体的にどこで交わっているか)

市民と行政が一体となった防災体制作りで「藤岡市防災公園」がオープンしたので、イベントを考えて広く市民に周知して欲しいと思いました。

(コロナ禍で難しいと思いますが)

意見書

氏名：委員 F さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

「地域コミュニティの活性化」とは、どういう状態を目指すのか、ゴールを明確に定義しておく必要がある。

そのうえで、それぞれの役割や取組を考えたい。

たとえば、地域の課題や様々な活動の状況を共有することが必要になる。

今までの広報や交流の在り方から一歩進めていく。

○公民館を中心にした、地域の課題・取組・行事の共有システムの構築

- ・HP や SNS での発信
- ・地域づくりに係わる団体や人による意見交流・取組

○行政には、公民館をステーションにした、上記のコーディネートや発信、各団体の発信支援

○住民は、係わる団体や人が、活性化に向けた取組等を提示していく。

- ・きっちりとした組織的な取組でなくてもいい
- ・各団体の重複した取組みも考慮したい

意見書

氏名：委員 G さん

地域に住む住民の立場から考えると、地域活動や地域学校協働活動（コミュニティスクール）に興味・関心をもつことが、地域（コミュニティ）の活性化を図る上では大事なことだと考える。

小・中学校やコミュニティスクールの立場から考えると、それぞれの学校にある PTA という組織、学校運営協議会及び地域学校協働本部、そこにボランティアとして属する各諸団体・組織、区長（会）など、目指す方向は、学校や児童生徒をサポートする方向で一致していると考えられる。が、それぞれの団体や組織、個人が互いに一堂に会して交流したり、情報を交換したりする機会はあまりない。コミュニティスクールという枠組みも学校を核とした地域作りにつながっていかなくてはならないと考えるのは、前回にもお話ししたとおりである。

コミュニティスクールは、教育委員会学校教育課を中心に推進されているが、これまで以上に、横の連携：学校教育課と生涯学習課、地域づくり課など、「課」を超越した組織があったらどうだろうかと思うことがよくある。いろいろな立場の人や組織、団体を一つの考え方で一つの方向に向かわせることが可能になるのではないかと考える。

また、市長や教育長が、一般市民や一般の教職員の話を直接聞くような、いわゆる「懇話会」のような企画もおもしろいのではないかと考える。

意見書

氏名：委員 H さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

（行政の役割について）

行政の役割というと、市民活動への補助金や助成といったお金の話になりがちであるが、もっと大事なことがあると思います。

- ・市役所職員が PTA や子ども会の役員を積極的に引き受けること。

市役所組織として、役員を引き受ける職員を奇異な目で見ない。公務員の調整力、資料作成能力は侮れない。外の世界で学んだ経験、培った人脈は仕事でも役に立つ。

- ・職員が地域活動に参画することを推奨する。

公務員には市民活動を怪しいもの、関わらない方がよいものと考えている人もまだまだ多い。むしろ、公務員が地域に関わることを奨励してもらいたい。

（市民の役割について）

- ・役所に過度に期待しない。

市民の中には「私たちがこんなに『いいこと』をしようとしているのだから、行政が応援するのは当然でしょ」という意識の人もある。市役所にはいろいろな意見、考えが寄せられ、予算には限りがある。役所にあまり期待せず、まずは自分たちでできることをやる。

意見書

氏名：委員 I さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

- ・ 1、2 ヶ月に 1 回位イベントがあれば人も集まる事が増え、楽しみも増えると思う。
- ・ 市全体もそうですが、各地区・各地域の活動・イベントにも自由に参加できるようにしていけたらと思う。
- ・ 自然と人が集まる所でイベント交流ができないかと、考えても良いのではないかと思います。
- ・ 公民館に HP,インスタ、YouTube、FB ができるようにした方が、地区全体に情報がいくのではないかと思います。

意見書

氏名：委員 J さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

まずは地域の範囲、定義を明確にすることが必要である。本意見書では区（区長さん）を一つの地域として取り組みを考える。

そこでは区長さんを中心に ○○区活性化協議会(仮称)を設立し、既存のコミュニティ組織（例：婦人会、老人化、子ども会 他）の人達＋地域の幅広い層の人達に集ってもらい

①地域活性化の必要性、目的を共有する

(例)

日常生活でのふれ合いや、共同作業、共同活動を通して、連帯感や信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域を、自分たちの力で自主的に住み良くしていく。

そして大きな災害等の発生時の助け合いや、高齢者子どもの見守りなど地域の防災力や防犯力を高める。

②共有した目標を達成するために必要な活動を出し合い、既存のコミュニティ組織で取り組んでいる活動と、新たに取り組む活動に整理する

③新たに取り組む活動について、区長さんを中心にして進め方を協議していく

意見書

氏名：委員 K さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

コミュニティとは何か？

とにかく中身をよく市民に周知認識してもらう事が先ず一番。

地域支え合い協議体と違う点は？

同じと考えてよいのか？

小・中・高校生も含め市民全体を対象とするのか？

市としての方向はどこを目的としているのか。

意見書

氏名：委員 L さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

委員さんがお話になっていた、藤岡で行われた「花と緑のぐんまづくり」で盛り上がったイベントを、その時限りで終わらせるのではなく、参加した各ボランティアが横のつながりを持って大掛かりなものでもよいので、毎年続けていく事で新しいコミュニティが出来るのではないのでしょうか？

また、平井地区の皆様が取り組まれた花壇作り、素晴らしいと思います。皆さんが自発的に行う事で人々が集まり、地域の絆が強まる事が出来たのだと思いました。

ボランティア協議会も、自分達が行っている活動を様々な場所で発信し、是非参加したいと思えるような団体にしていきたいと思います。

意見書

氏名：委員 N さん

Q.課題と現状をふまえ、地域コミュニティを活性化するために市民・行政の各々の役割や取り組みについて考えられることは何かありますか？

〈 地域コミュニティ活性化について 〉

- * 全員の方がコミュニティの活性化が必要であると認識しておられます。
アンケートの結果からも 8 割の方々が、地域のつながり（コミュニティ）の活性化が必要と言っています。
- * 地域の活性化と共に地域の「共助」を最終目的とする事の必要性を痛感する時勢が感じられるからです。
今後、藤岡市においても災害が顕在化することが予想されます。
災害時に於いて、地域における自助共助体制が脆弱では被害の増大が懸念されます。

〈 共助体制の確立 〉

- * 地域コミュニティの活性化を図ると掲げることで理解と協力が得られやすいのではないのでしょうか？
- * 災害時の共助体制確立の為に地区の公民館などの避難場所に集まる事を習慣づける。その流れを確立することで、情報の共有（伝達が迅速かつ正確に）
- * 集まる機会が増すことで人材の発掘や育成にもつながると考えます。
- * イベントの多様化によって、活性化につながれたら良いのではないのでしょうか？

〈 地域の捉え方 〉

- * 先ず、顔が見える範囲を広げ、人数を増やしていくべきと考えます。
- * 伝統的な地域行事やイベントを継続して実施し、集まる機会を増やすのが大切である。
- * 各地域で開催している行事に市民参加の呼びかけ
例 藤岡地区主催 納涼祭・スポーツフェスティバル
市主催 蚕マラソン・お祭り

〈 コミュニティの範囲の役割 〉

- * 【公民館単位】 汎用性のある問題の解決
- * 【行政区単位】 細やかな問題の解決

〈 地域コミュニティに求めるもの 〉

1. 相互扶助 住民自治の拡充
2. まちづくり 推進の主体
3. コミュニティー組織の中核的主体
4. 防災活動・安全確保の担い手
5. 親睦 と まとまり

家族・地域・職場のつながり・安心できる社会とのつながり・
地域活動組織の調査を基に地域それぞれに活動することが活性化につながる。

アンケートに付随して住民から個別の意見の募集を実施

事業遂行にはどのような形でもそれにかかる経費が必要です。

現在の公民館は地域から運営費を預かり、事業を実施しています。

地域はその運営費を区費と言う形で住民から徴収します。

又公民館運営費はそこから世帯数を基本に算出します。

しかし、市の人口予想値では人口は年々減少傾向にあり、当然の結果世帯数も減少していきます。したがって現状の形（地域の拠出金額）がいつまで維持できるかわかりません。

加えて地域拠出金はその負担根拠が明確ではありません。将来的には大きな課題となることが考えられます。

公民館が趣味のサークルへの貸し館や自主避難所と言うイメージを払拭し、新たな公民館として出発するには、現在あるいは既に終了している改修工事は最良の機会であると感じています。

これが公民館の事業及び現状ですが、市民は公民館を主体とした受け身の形ではなく、その本来の目的に向かって積極的に参加する意欲の増進が必要です。

公民館の活性化は同時に地域の活性化に繋がると考えています。

そして、それは公民館任せではなく、地域の実情を汲んだうえでの行政のあるべき施策だとも考えます。